

令和5年度「県民ふるさと大賞」表彰団体の功績概要

(五十音順・敬称略)

■ 6 団体

○朝日町保小中一貫教育校 (朝日町)

朝日町では学校と地域が一体となり郷土の自然、歴史等を学び親しむ「ふるさと学習」を進めてきた。「宮崎海岸でのヒスイ探し」や「わが町再発見事業」、「ふるさと体験バスツアー」など地域の方の協力を得ながら地元ならではの多彩な体験活動を行ってきている。令和4年度からは小・中学校に町独自の教科「ふるさと科」を創設し、ふるさとを愛し地域の発展に貢献できる子どもの育成に取り組んでいる。

○魚津市加積公民館 (魚津市)

加積地区は、100年を超える栽培の歴史のある「加積りんご」の産地であり、加積りんごをテーマにした事業を企画し、子どもたちへのふるさと教育を行っている。野菜作りなどに新川高校の協力を得たり、新川高校のイベントに子どもたちが参加する等相互の交流事業も行っている。Eスポーツの異世代交流事業にも新川高校生が参加するなど幅広い世代が交流する事業により地域の活性化を図っている。

○特定非営利活動法人きんたろう倶楽部 (富山市)

「森づくり」「地域の交流」「人材育成」「里山の利活用」を柱に、里山を再生し、森と街をつなぎ、持続的な循環の流れを構築するとともに、いのち輝く森づくり、人づくり、街づくりを行い、森林の再生や利活用を考え、さまざまな人と連携を図りながら、未来を担う子どもたちへ誇りを持って託せる森林都市富山の創造に寄与することを目的として、里山整備ボランティア等の活動を進めている。

○富山県立中央農業高等学校生物工学コース (富山市)

県内で発見された、世界に一本しかないサクラの保存・増殖に平成22年から取り組んでいる。サクラを誰にでも増殖できるよう挿し木の研究に取り組み、その手法を確立した。サクラの増殖を契機として、地域交流を活性化させ、地元愛の醸成につなげている。また、サクラを交流のシンボルとして、東日本大震災の被災地の方々と交流するなど、活動を広く展開している。

○富山湾海岸をきれいにする活動の会 (富山市)

平成26年に有志ボランティアによる海岸清掃ボランティア活動の会を立ち上げ富山湾海岸をきれいにする活動の普及推進に取り組んでいる。富山市域外の海岸で清掃活動に取り組むとともに、各団体や行政機関と連携して研修会や講演会を開催し海岸漂着物等についての知識を広め、環境保全のための行動を促す啓発に取り組んでいる。

○南砺市南山田交流センター (南砺市)

少子化により地域住民との交流が希薄になることを避けるため、地域の子どもたちを対象にガーデニングなどの教室や体験会を行う、わんぱく塾事業を15年以上継続して実施している。老若男女関係なく誰でも参加できる運動会や文化祭を実施するほか、地域の伝統行事である「城端むぎや祭り」の幼児・児童の演目練習や祭出演を通して、地域への愛着を深めるとともに伝統行事の継承に努めている。